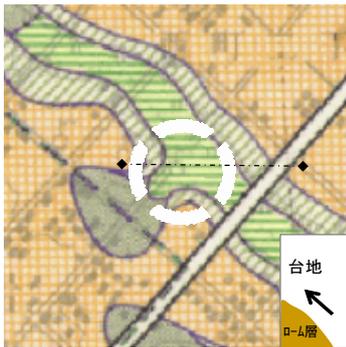
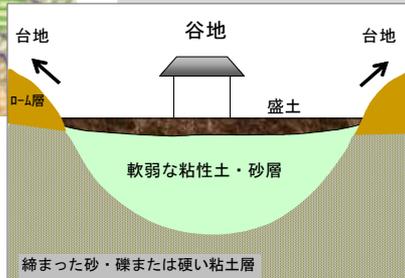


沈下事例ファイル **014** 谷地／埼玉県岩槻市



土地条件図↑

地形の推定断面→



【地形・地盤】

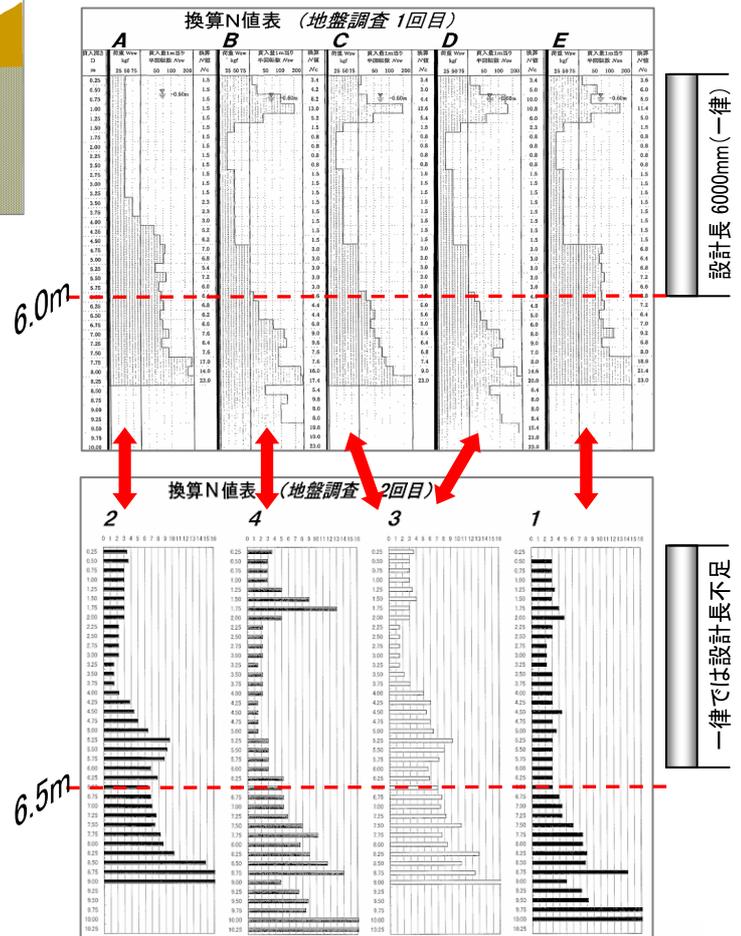
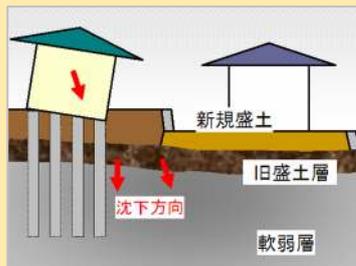
北西—南東方向に延びる谷に位置し、南西高台の谷筋から降雨浸食等により流出した土が2次的に堆積する軟弱性の高い地盤と考えられる。

【建物構造】

- ・木造2階
- ・新築時に柱状改良実施済
改良長一律 6.0m
添加量 280kg/m³

【沈下要因解析】

- ◆ 1回目の調査(右上)を基に一律 6.0m で設計谷側のEで軟弱層が4.5mと浅くなっているが、沈下発生後の調査(右下)では、対応する No.1 で 6.5m までの軟弱層が認められる。これほどの層厚変化は自然状態ではあり得ず、データ取り違い等の人為的な要因も考えられる。
- ◆ 結果として、一律設計では一部の範囲に杭長不足が生じていたと考えられる。
- ◆ 当該地建築後に、隣地にて掘削、表層改良、CB2,3段分の盛土などを伴う新築工事が行われている。当地一帯が近隣盛土等の影響を受けやすい軟弱な地域性を持つことを考慮すると、近隣工事に引きずられた可能性を否定できない。(下)



【修正概要】

■ 既存コラム上に耐圧版を設置しての全体修正

